



2022年1月27日

各 位

会社名 太洋工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 細江美則  
 (JASDAQ・コード: 6663)

問合せ先  
 役職・氏名 経営企画部長 園部直孝  
 電 話 073-431-6311

### 営業外収益及び繰延税金資産の計上、 通期業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

2021年12月期第4四半期会計期間(2021年9月21日～2021年12月20日)において、下記のとおり営業外収益及び繰延税金資産の計上を行いましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2021年1月29日に公表した2021年12月期(2020年12月21日～2021年12月20日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外収益の内容

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等の支給申請により、助成金収入20百万円を営業外収益に計上いたします。

#### 2. 繰延税金資産の計上について

今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額△14百万円を計上いたします。

#### 3. 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,326	59	71	53	8.99
今回修正予想(B)	3,917	121	253	241	40.84
増減額(B-A)	△408	62	182	188	—
増減率(%)	△9.4	105.2	256.4	354.1	—
(参考)前期実績 (2020年12月期)	3,175	△425	△314	△630	△106.83

#### 4. 修正の理由

通期連結業績予想数値については、経済活動の再開に伴い一部で需要に力強さがみられ、主力事業である電子基板事業において受注は概ね想定どおり進捗したものの、企業の設備投資に対する慎重姿勢により、テストシステム事業において主に海外市場での検査機の販売が想定を下回ったこと及び鏡面研磨機事業において研磨機の販売が想定を下回ったことから、売上高は当初予想を下回る見込みであります。損益については、電子基板事業において利益率の高いFPC試作案件の受注増等により売上総利益率が上昇したこと及び新型コロナウイルス感染症の影響により出張旅費や広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が想定を下回ったことから、営業損益は当初予想を上回る見込みであります。また、上記のとおり営業外収益及び繰延税金資産を計上したことから、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益は当初予想を上回る見込みであります。

5. 2021年12月期配当予想

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		3.00	3.00
今 回 修 正 予 想		5.00	5.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 ( 2 0 2 0 年 1 2 月 期 )	0.00	3.00	3.00

(2) 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営施策のひとつとして位置づけていることから、安定的配当の継続を基本に、内部留保の充実や配当性向等を勘案しつつ、収益状況に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

上記のとおり、2021年12月期の連結売上高は前回予想を下回ったものの、利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

つきましては、当該方針に基づき、配当予想を従前の1株当たり3円00銭の期末配当金（年間配当金3円00銭）から2円増配し、1株当たり5円00銭の期末配当金（年間配当金5円00銭）に修正いたします。なお、本件については、2022年3月17日開催予定の第61期定時株主総会に付議する予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上